

あなたの手を、世界の誰かに。

2018年4月23日



セカンドハンド通信 NO.92

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/
ブログ:https://koekihojinsecondhand.wordpress.com/
Facebookもしています！ [セカンドハンド Facebook] 検索



今号はカンボジア渡航特集！2月11日～15日と3月2日～12日の2回、カンボジア渡航を行いました。2月はオートクビル小学校の贈呈式に出席、3月はホームランドでの保健衛生指導者育成プロジェクトを実施しました。



完成した校舎

オートクビル小学校 贈呈式

2月13日、カンボジアのオートクビル小学校で行われた贈呈式にセカンドハンドから5名(理事2名・ボランティア2名・職員1名)が出席しました。



子ども達が花道で
迎えてくれました！



「新しくきれいな校舎で
安心して勉強できるよう
になりました！」



教室に並ぶ児童



感謝の気持ちとして、
折り紙の花が
手渡されました。



紙風船で交流しました！



近藤温子さん
(ボランティア)

式典の後、教室内を見学していると、外から子ども達がぎやかな声が聞こえてきました。外に出ると子ども達は恥ずかしそうにこちらを見ていて、私がにっこりすると嬉しそうにニコニコしてくれました。



近藤彰介さん
(ボランティア)

履物を履いていない児童が多く見られ、栄養不足により部分的に金髪のようになっている児童もいました。オートクビル小学校があるような田舎にこそ支援の手は必要であると感じました。



高島清磨理事

小学生、地元住民など大勢の人の歓迎を受け、州副知事、教育局次長、郡長など出席のもと小学校校舎の引き渡し式が盛大に開催されました。高官の出席は我々の支援の重要性を意味します。今後、この校舎が十分活用され、良い教育が施されることを願います。



三木誠理事長

この学校には、若い校長先生と何人かの若い教員が働いていて、子どもたちに折々に声をかけていました。子供たちも、若い先生たちも、はじけるような笑顔が印象的でした。



オートクビル小学校は完成しましたが、支援に必要な資金のうち残り約100万円がまだ集まっていません。引き続き支援金を受け付けています。この事業に寄付金を通じてご支援いただけます方は、ウェブサイトからPayPalにてご寄付いただくか、同封の払込取扱票をご利用いただき郵便局窓口にて振替口座までご送金ください。
※通信欄に「教育支援」とご記入ください。

「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学生支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

奨学金支援

スカラーペアレント募集中！

2018年10月の新学期から奨学金支援を希望する学生2名を紹介します！

◆スカラーペアレント制度

2012年にスタートしたセカンドハンドの奨学金支援制度。日本の支援者が、貧しくて学校に通い続けることができないカンボジアの中高生の里親となり、学校に通い、学び続けられるよう経済的に支援します。「勉強して夢を叶えたい!」「将来社会に貢献したい!」という想いをもちながら貧しくて学校に通えない生徒がたくさんいます。遠い日本からでも月額3,000円で彼らの夢を支えられるのがこの制度です。支援は、個人でも、お友達同士やサークルなどのグループでも可能です。



Ny Chanaさん（15歳）

高校1年生（2018年10月～）
将来の夢：クメール語の教師

両親と祖母の4人暮らし。HIV患者であるお父さんは、建設作業員の仕事をしているが、生活は安定しない。将来はクメール語の教師を目指しているが、経済的な不安定さから学校に通い続けることができなくなるかもしれませんといふ不安を抱えている。



Din Reaksmeayさん（15歳）

中学3年生（2018年10月～）
将来の夢：ITの仕事

好きな教科はクメール語で、将来はITの仕事がしたいと語ってくれたDin Reaksmeayさん。小学校5年生になる弟と2人姉妹。お父さんが販売の仕事で家計を支えているが、収入が少なく食べていくのがやっとの状態で、2人の子どもを学校に通わせる余裕がない。

カンボジア 視察渡航報告

2月の渡航では、ホームランド、ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバンも訪問しました。

ホームランド



ホームランドでは、子ども達もお手伝いして作ってくれた昼食をいただきました。焼きそばと野菜炒めが絶品でした！



フォスターペアレントからの
プレゼントを手渡しました！



里子と一緒に記念写真☆

ラチャナ・ハンディクラフト バッタンバン



見学に行ったときには
5人の女性が作業をしていました。



手動のはた織り機も現役！



ラチャナ・ハンディクラフト・バッタンバンでは、クラフト品の製作現場を見学させていただきました！

チャリティーイベントでカンボジア支援!

松縄店ではオープン以来、さまざまなチャリティーイベントを開催してきました。今後も、多様なイベントを企画していくたいと思っていますので、講師を務めてくださる方を大募集しています!特技を生かして、チャリティーイベントを開催しませんか?

また、「〇〇なイベントがあったら参加してみたい!」「〇〇をしてみたらどう?」など、皆様からのご提案もお待ちしております♪

ハーバリウム作り体験

(昨年12月10日、1月21日の2回開催)



香川大学の学生団体「Flower* Culture*Future」さんとのコラボイベントで、ハーバリウムを作るイベントを2回行いました。完成した作品をみなさん大事そうに抱えたながら持ち帰る様子が印象的でした。

クリスタルボウル演奏会

(3月25日開催、6月23日開催予定)



寝転がって音色を聴きます!

クリスタルボウルは、水晶から作られたヒーリング楽器です。音色は、脳の深いところまで届き、心地よいリラックス感をもたらします。

次回は6月23日(土)11時~12時に開催予定!ぜひご参加ください♪

スイーツデコ作り体験

(2月25日開催)



スイーツデコ作り体験には、小学生の女の子たちが参加してくれました!皆さん初めてのスイーツデコ作りでしたが、とても上手で、先生も大絶賛の出来栄えでした!

着付け教室

(毎週水曜日開催)

毎週水曜日は着付け教室を開催します!講師は、わだもん代表の寒川かおりさん。どなたでもお気軽に参加できます。参加希望の方は前日17時までに松縄店にご連絡ください!

日 時: 毎週水曜 13:30~15:00

参加費: 2,000円 (着物をお持ちでない方は別途500円でレンタル可)

持ち物: 足袋必須。お持ちの方は、着たい着物をお持ちください。

第二弾

フェアトレード商品販売でのご支援!



日本各地のお店やイベントでセカンドハンドのフェアトレード商品を販売することで支援をしてくれている方がたくさんいます。今回は、和cafeぐう(香川県香川郡直島町)をご紹介します!

和cafeぐう



「和cafeぐう」は、香川大学の学生が直島地域活性化プロジェクトの一環として直島本村地区で運営しているカフェです。「アートの島」とも称される「直島」で、カンボジアの女性たちが手づくりしているアート作品であるフェアトレード商品を是非手に取っていただきたいです。

昨年度より、香川県立保健医療大学の協力を得て、月に実施した「保健衛生指導者育成プロジェクト」。月には2回目の現地指導を行いました。同大学で学ぶ岡本ゆいさん、今吉拓人くんと一緒に同行して、同大学の森西起也先生を派出し、これまで学生を39人に増やしました。

ホームランドスクール プロジェクトの現場から 保健衛生指導者育成 vol.2

今回は、ホームランドの代表マオランさんを含むスタッフ7名（幹部4名と、前回参加した幼稚部スタッフ3名）が5日間のワークショップに参加しました。今はホームランドから離れて働いている幼稚部スタッフもいたのですが、「前回のワープショップが楽しかったから」と参加を申し出てくれたそうです。これはとても嬉しい報告でした。

前回立てた目標

- 目標① 子どもたちが、食事の前に手を洗うことができるようになる
- 目標② 子どもたちが、手を洗った後には手がキレイになったと理解することができる
- 目標③ 子どもたちが、細菌があなかに入ると体調が悪くなるということを理解することができる

前回の手洗い指導から半年。まず、ホームランドの現状をスタッフと共に振り返ったよ。

幼稚部スタッフの手書きで教室に掲示

昨年9月に3名の幼稚部スタッフと一緒に設定した上記の目標に対して、今回の参加者7名に現状評価をしてもらいました。それぞれの達成度は、目標①70%、目標②80%、目標③75%とのことで、この半年で概ね達成できたという評価でした。前回の指導から半年も開いてしまったので、手洗いの定着がしにくいのではと懸念していましたが、この現状評価から、スタッフが日々どのように子ども達と向き合って指導していたか、その成果が伺える評価となりました。

前回手洗い場の壁に貼ってきた手洗い手順表は今もそのまま残っていました。ハンドソープを自ら買い足し、手洗い場やトイレに設置。その液体の減り具合からも、日常的に手洗い指導を継続している様子がわかりました。

今回は、ご協力頂いた森西先生の専門性を活かし、手や水周りの細菌を採取し、肉眼で見えるようにすることで、手洗いや生活環境を整えることの重要性をこれまで以上に理解してもらえるようアプローチしました。



まな板から細菌を採取するスタッフ



培養した細菌を肉眼でチェック



紙芝居をスタッフと一緒に作成



手形寒天培地を使用し、手洗いの効果を判定

最終日は子ども達の前で授業をしたよ！



手洗い手順表の復習



親指もしっかり洗うよ！



表を見ながら丁寧に



洗い流しも大事



手首も忘れないで洗うんだね



手がきれいになって気分もすっきり♪



参加したスタッフ達は、手洗いや掃除の大切さを頭では理解していましたが、様々な体験活動を通して学ぶことで、より理解を深めた様子でした。

これまで細菌をイラストでしか見たことのなかつた人も、実際の菌の写真を見ながら学ぶことで、最後には「菌の種類の多さに驚いた。また、それぞれのリスクについて知ることができた。施設内だけでなく、家庭での手洗いや掃除にも力を入れていきたい。自分の子どもにも教えたい。」と、話してくれました。



岡本ゆいさん（看護学科3年）

習慣化されていないことを一度の介入で習慣づけることは難しいけれど、活動が楽しいと思ってもらえることで手洗いに対して興味をもったり、少しずつ行動に移したりすることができるのだと思いました。そして、相手の価値観や生活背景を知ったうえで相手に合った指導をすることが大切だということを学ぶことができました。また、今回の指導では、スタッフの方が「ゆいオッケー？」と聞いてくれたり、動作で教えてくれたりして、言語の壁を感じながらも前回以上に楽しく活動ができて良かったです。



今吉拓人くん（臨床検査学科2年）

私はカンボジアが初めてで、予想以上に日本との暮らしの差を感じました。物乞いの人も当たり前のようにして、この光景が普通のようでした。そんな環境では、当然のように衛生面に気をつける人は少なく、教えるという行為に意味はあったのかなと思います。この5日間の活動では、いろいろと考えさせられるものがあり、現地の人たちが手洗いや掃除などの衛生面にもっと気をつけてもらい、病気を減らせられればと思いました。



森西起也先生

今回、臨床検査の立場から参加させていただきました。ホームランドスタッフは、私が思っていた以上に菌に対して興味を持ってくれ、質問も積極的にしてくれました。カンボジアの公衆衛生の状態は、正直かなり悪いという評価でした。しかし、ホームランドスクールの先生に講義をして感じたことは、家族を含め、健康になるためにどうしたらよいのか、ということを真剣に考えていることです。カンボジアに足りないことは、正しい知識を学ぶ機会だと思います。正しい知識を伝えられれば、それが広まり、ゆくゆくは健康に対して更なる改善を望めるのではと考えています。

生活習慣を変えるということはとても難しいことです。更なる公衆衛生の定着を図り、より効果的な指導を行うためには、渡航回数を増やして定期的な指導やフォローが必要です。専門家の方が継続して関わることで、課題の共有や目標の明確化がスムーズとなり、適切な現地指導を実現することができました。

次回は夏に第3回目の現地指導ができればと考えています。一回の渡航にかかる費用は、専門家の方に安いホテルに泊まつても約50万円。子どもたちの健康を守るために、継続的な公衆衛生教育が必要です。どうか、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

この事業に寄付金を通じて支援いただけます方は、ウェブサイトからPayPalにてご寄付いただくな、同封の払込取扱票をご利用いただき郵便局窓口にて振替口座までご送金ください。



※通信欄に「保健衛生支援」とご記入ください。

野菜販売でカンボジア支援!



2016年12月より、「しあわせブロックリー」と称し、ブロックリー1個につき5円をセカンドハンドに寄付してくださっているサリーガーデン(香川県観音寺市)の藤原秀太郎さん。2018年3月からは、藤原さんのご紹介で岸上ファーム(同市)の岸上幸美さんも「しあわせブロックリー」の販売に協力してくださっています!販売に関する情報はそれぞれのFacebookをご覧ください。

サリーガーデンの藤原秀太郎さん



カンボジアでボランティアをした経験から、「農業とカンボジア支援をつなげたい!」と思い、支援を始めました。「これが売れたらカンボジア支援になるんだ!」と思うと余計に頑張れます。自分がカンボジアに行って価値観が変わったみたいに、ブロックリーを貰いに来てくれた人達にも何かのきっかけを与えられたらいいな、と思っています。

岸上ファームの岸上幸美さん



ちっちゃな事からでも始めれば、いつかは大きな輪になり困っている子供達を助けられる…

今の自分にできることはほんの少しだすが、何かしらお役に立てれば嬉しいです。

学校関係の皆様のご協力

古高松南小学校よりご寄付

毎年、空き缶回収の収益金をセカンドハンドに寄付してくださっています。3月7日、その贈呈式で児童の皆さんから収益金を預かってきました。

仏生山小学校より品物提供



仏生山小学校5年生の皆さんのが全校生徒に呼びかけ、本やおもちゃ、日用品など段ボール6箱分を集め、セカンドハンドに寄付してくださいました!

体験学習in松縄店

山田中学校1年生、高松北中学校生徒会が松縄店に体験学習に来てくれました!



お店で使う値札を作りました!
(山田中学校)



衣類に値札を付けました!
(高松北中学校)

高校生ボランティア活躍中!

3月18日・19日片原町店隣りのけやき市場で開催した布セールに、高松東高校、三木高校の生徒がボランティアに来てくれました!



お金や品物の寄付、ボランティア活動など、様々な形でご協力いただきました。ここでは紹介しきれませんが、他にもたくさんの方々にご協力いただいています。ありがとうございました!

各地でひろがるセカンドハンドの輪

セカンドハンド北海道

昨年12月16日、札幌駅前地下歩行空間で行われた「北海道国際カフェフェスタ」に参加し、フェアトレード商品の販売を行いました。フェスタでは国連のSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、各団体の当てはまるゴールを選びブースに掲示。貧困、健康と福祉、教育、ジェンダー平等、人や国の不平等…セカンドハンドの活動の多様さに改めて気付きました。

次回は6月のフェアトレードフェスタに出展予定です！



舞神ソーランドラゴンの二人の決めポーズに私たちもピース

セカンドハンド関東

転勤などによりメンバーが激減していますが、できる範囲内での活動を考えていきたいと思っています。以前にご協力いただいた方や活動にご興味がある方はお気軽にご連絡ください。
待ってまーす(^O^)/

■セカンドハンド関東

連絡先：

2hand.kanntou@gmail.com

セカンドハンド・ユース



一緒に街頭募金活動をしてくれる方を募集しています！

セカンドハンド・ユースは、今年で発足9年目を迎えました。これまで先輩方が築き上げてくださったセカンドハンド・ユースを発展させていくとともに、国際協力活動を軸に、今できること、やりたいことを考え、行動に移していきたいと思います。

2月は京都国際会館で開催された「BEYOND 2018」に参加し、全国で活躍する皆さんの社会活動に対する熱い想いに刺激を受けてきました。さらに、「地域の家 ココカラハウス」とのコラボイベントとして「こころから♡カフェ」に出店。毎月の定期街頭募金も実施しています！

■セカンドハンド・ユース 連絡先 : secondhand_youth@yahoo.co.jp

春日町倉庫引越し完了！

これまで10年以上、株式会社ディノス・セシールさんより協力価格で倉庫をお借りしていました。

倉庫内にあるベルトコンベアも使わせていただき、重い荷物の搬入搬出作業もとても楽に行え、大助かりでした。長い間、ありがとうございました！



ボランティアの皆さんのご協力で引越し作業を終えました！

SPECIAL THANKS



12/1～2/28までの3ヶ月間にご寄付などでご支援くださった方々です。その他にも様々な形でご協力くださった皆さまありがとうございました。

【寄付者】青井恵子、青野千恵子、伊賀憲子、伊川典子、石川町子、石見和弘、入江治子、鵜川利恵、大谷由美子、大波哲、荻浦いく弥、柏原裕美、川崎多恵子、川田貴美子、河原敏博、北山直子、木村明仁子、倉岡継学会、小竹由美子、小林規子、近藤温子、近藤彰介、酒井恵津子、白川ふみ、真行寺、神内幾代、末澤一誠、菅谷菜穂、大光菊江、高倉恒三、田中正利、俵恵美、塚田泰代、鳥かい歯科医院、沼田章、のぞみ総合法律事務所、秦和美、久松恵津子、升崎里美、松原志乃、美濃吉広、宮本明宜、宮本宏子、山下英城、山本博美、山本悟史、弓削田裕子、横田千春、吉田正強、吉本房子、米倉力、渡部豪

【その他】天勝丸亀店、永井敬子、和カフェぐう、Backyard Garden、サリーガーデン、岸上ファーム、藤本景子、竹本麻美、高倉恒三 〈敬称略〉

information

Second hand Official Supporter: SOS会員募集

教育支援・医療支援などの特定目的ではなく、セカンドハンドの活動を全般的に支えていただくSOS会員（賛助会員）制度があります。お申し込みは同封の払込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としをご利用いただけます。お名前・ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。（セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます）

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
 - ◆会費は税法上の寄付金控除の対象となります。
 - ◆特典：報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

余っていませんか？提供してください！

裏紙・白コピー用紙・角コピー用紙(どちらもA4サイズ)・水のり・圓形のり・ポータブルDVDプレーヤー

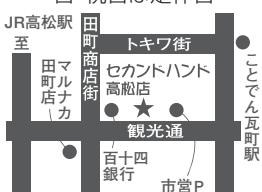
ヤolandハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はヤカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
毎月第3木曜日	チャリティー着付け教室 時間:13時半～15時 参加費:2,000円 ※収益金の一部は支援費となります	セカンドハンド松縄店
毎月第3火曜日	ボランティア体験デー 時間:13時～15時	セカンドハンド松縄店
毎月第3木曜日	ボランティア体験デー 時間:10時～12時	セカンドハンド高松店
5月3日(祝・木)、4日(祝・金)	丸亀お城まつり	丸亀城内
5月27日(日)、28日(月)※予定	食器市	けやき市場
5月30日(水)～6月2日(土)	チャリティーバザー	4町パティオ広場
6月3日(日)	【総会】時間:13時～14時半 参加費:無料 (※資料が必要な方は資料代300円) 【カンボジア保健衛生指導者育成プロジェクト報告会】 時間:15時～17時 参加費:無料 【ボランティア交流会】時間:18時～20時 食事代:未定(4,000円程度)	【総会・報告会】瓦町FLAG8階 大会議室2 【交流会】未定(瓦町駅周辺)
6月23日(土)	チャリティークリスタルボウル演奏会 時間:11時～12時 参加費:3,000円 ※収益金の50%は支援費となります	セカンドハンド松縄店
6月下旬 ※予定	チャリティーカンボジア雑貨バザー	瓦町駅前(2階コンコース)
7月21日(土)	セカンドハンド通信93号発送作業	セカンドハンド本部4階・松縄店

本部・高松店

〒760-0055 高松市觀光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:月~金 10時~16時
土 11時~15時
日・祝日は定休日



片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



松繩店

〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL:080-4999-0494
Email:matsunawa2hand@ymobile.ne.jp
営業時間:平日11時~19時 土日祝11時~18時
木曜日は定休日



のネットワーク

■セカンドハンド北海道

吉

(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com
<http://www.facebook.com/secondhandhokkaido>

■セカンドハンド関東

林 (Email)2hand.kanntou@gmail.com

■セカンドハンド大阪

徳 (E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集!